

カクイ、日本計器鹿児島製作所

南日本経済賞決まる

第13回南日本経済賞 決まった。

(南日本新聞社主催)

の選考会は12日、鹿児

島市の南日本新聞会館

であり、カクイ(鹿児

島市、岩元正孝社長)

と日本計器鹿児島製作

所(南九州市、吉田学

社長)の2社の受賞が

決まった。

カクイは1881

(明治14)年に綿花の

卸売業として創業し、

明治後期に日本初の洋

式機械製綿を始めた。

昭和40年代には脱脂綿

の連続精練漂白機を考

業績を伸ばした。平成以後は天然繊維を主体にしたオイルキャッチャー(吸着材)を製品化するなど、時代に応じた独創的な綿製官開發が認められた。

日本計器鹿児島製作所は旧知覧町の誘致企

業で1976(昭和51)

年に設立された。電子

部品や農業機械の製造

・開発を手掛ける。農

家の課題を聴き取って

製品化につなげた茶の

防霜散水制御装置は、

県内で5千台以上導入

されている。茶の無人

走行摘採機の共同開発

をはじめ、地場産業へ

の貢献度が高いと評価

された。

南日本経済賞は鹿児島

に顕著な業績を挙げ、将来性のある企業などを評価する目的で、南日本新聞社が2006年に創設した。宮廻甫允氏(鹿児島大学名誉教授)を委員長に、有山まり子氏(消費生活アドバイザー)、大野芳雄氏(鹿児島銀行相談役)、本田勝彦氏(日本たばこ産業元社長)、中村航洋氏(日本政策投資銀行南九州支店長)が選考した。贈賞式は8月9日、南日本新聞会館である。(大塚政志)

島県の経済・産業発展